

第6回 ふじさわサイクルプラン 推進連絡協議会

平成29年3月21日（火）

藤 沢 市
1

ふじさわサイクルプラン

次 第

1. 開 会

2. 成立宣言

3. 議 題

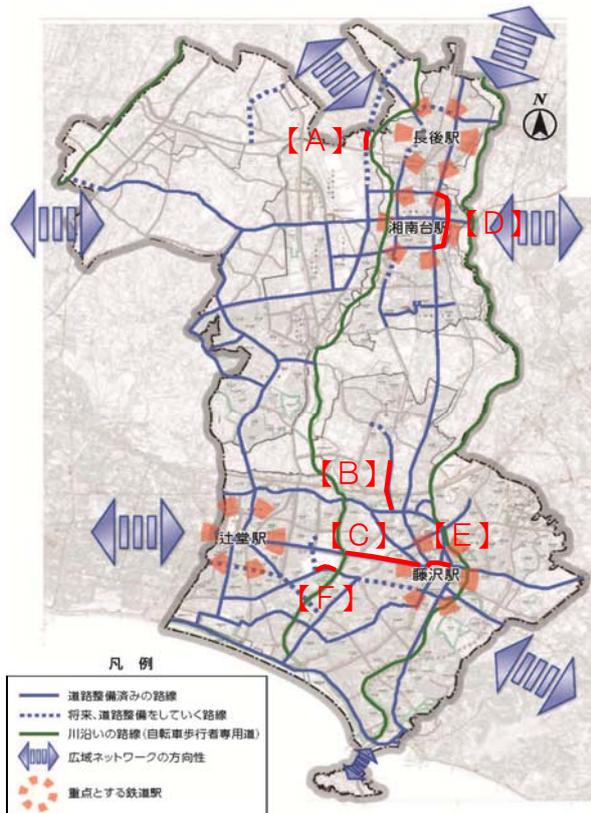
- (1) 平成28年度の取り組み状況について
- (2) 平成29年度の実施予定施策について
- (3) サイクルアンドバスライド施策の効果について
- (4) レンタサイクル（コミュニティサイクル）について

4. 閉 会

(1) 平成28年度の取り組み状況について

3. 議題 (1) 平成28年度の取り組み

◆はしる（走行空間整備）



【中短期で取り組む路線】

- 【A】 石川下土棚線
- 【B】 藤沢石川線
- 【C】 藤沢駅辻堂駅線

【その他の路線】

- 【D】 土棚石川線
- 【E】 藤沢村岡線
- 【F】 県道30号(戸塚茅ヶ崎)

■ 中短期で取り組む路線

石川下土棚線【A】

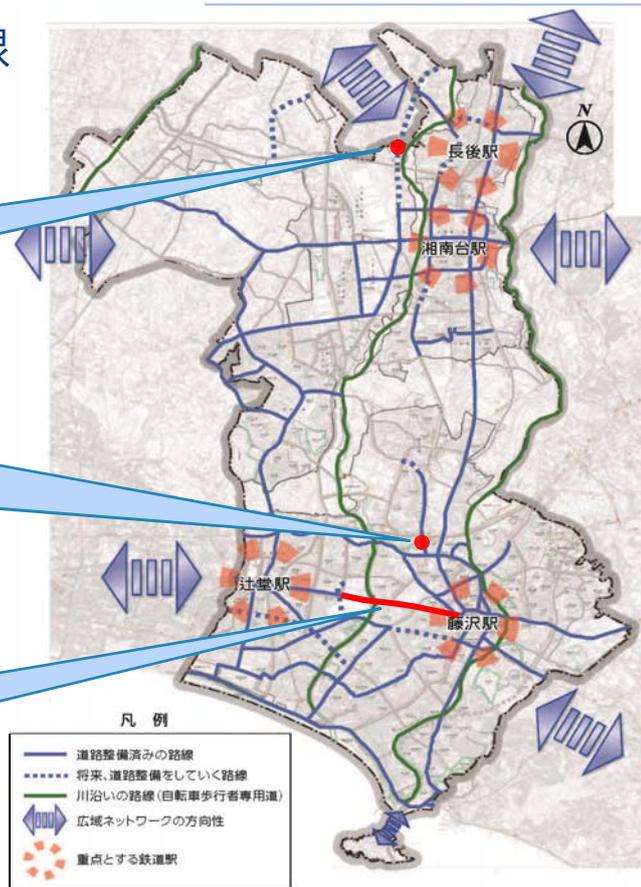
・綾瀬市境の橋梁新設工事

藤沢石川線【B】

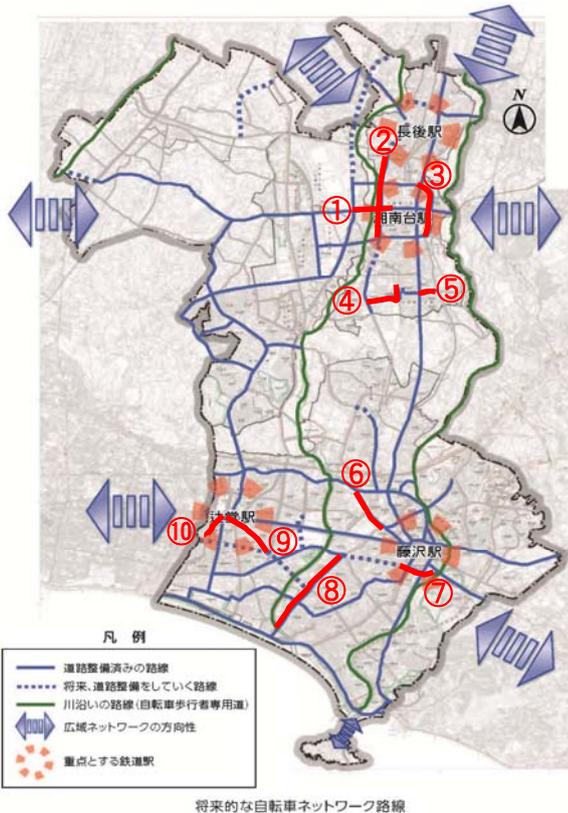
・藤沢本町駅西側の法面工事
・国道1号下のトンネル工事
(H29年度継続工事)

藤沢駅辻堂駅線【C】

・用地買収



■ その他の路線



今後の整備スケジュール (予定)

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
⑥中学通り線	変更前		変更後				
⑤六会駅東口通り線		変更後					
③土棚石川線	変更後	変更前					
①高倉遠藤線		変更後	変更前				
②善行長後線			変更後	変更後			
⑩桜花園通り線				変更後			
⑨八松小学校北通り線					変更後		
⑧鷗沼海岸線						変更後	変更後
⑦鷗沼奥田線							変更後

今年度実施予定であった⑥中学通り線については、企業庁藤沢水道営業所から、水道管の入替工事の実施について申し入れがあったため、③土棚石川線を先行して実施。

変更前 変更後

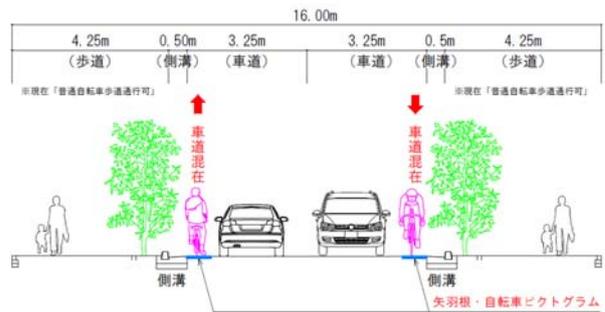
➤ 土棚石川線【D】



□事業概要

延長 約1,257m
車道混在型路面表示

平成29年3月供用開始予定



➤ 藤沢村岡線【E】



□事業概要

延長 約532m
車道混在型路面表示

平成29年3月供用開始

➤ 県道30号（戸塚茅ヶ崎線）【F】



□事業概要

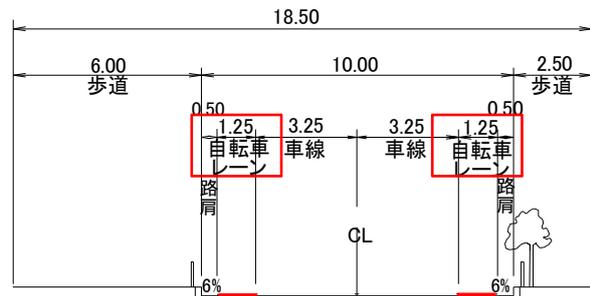
延長 約370m
自転車専用通行帯

平成29年度供用開始予定
(現在施工中)

※辻堂駅南海岸線までの整備に向けた設計作業も進めている



(参考写真) H27年度整備区間



◆とめる（駐輪環境整備）

➤ 放置自転車の撤去 [中短期施策]

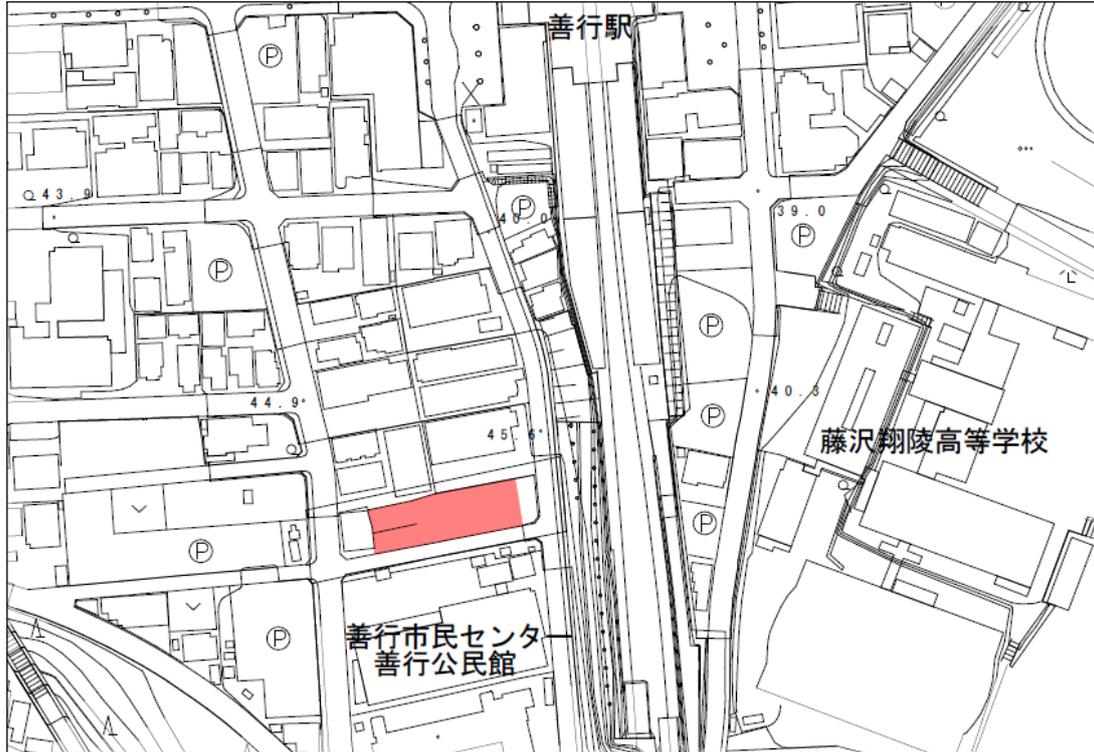
小田急江ノ島線・JR東海道本線・江ノ島電鉄線各駅周辺の放置自転車等について、警告・移動を実施

年度別藤沢市放置自転車等警告・移動数（バイク含む）

	H25	H26	H27	H28 (1月まで)
警告数	43,935	39,711	29,297	17,996
移動数	9,764	9,288	7,800	5,112

→放置自転車等警告数・移動数ともに減少傾向となっている

➤ 善行駅西口自転車等駐車場 (1/3)



平成29年2月末竣工

➤ 善行駅西口自転車等駐車場 (2/3)

所在地	藤沢市善行一丁目3	
構造	路外駐輪施設(屋外)	
	自転車	ラック式
	バイク	ロック式(原付・自動二輪車共)
供用開始	平成29年4月1日	
収容台数	自転車	19台
	原動機付自転車 (50cc以下)	81台
	普通自動二輪車 (50cc超125cc以下)	15台
	合計	115台

➤ 善行駅西口自転車等駐車場 (3/3)



◆つかう (利用促進)

➤ 矢尻バス停サイクルアンドバスライド



(参考写真) H27年度整備済み試験運用中施設

□事業概要

既存施設拡張

収容可能台数 計31台 (10台増)

平成29年3月供用開始予定 (拡張部分)

◆まもる (交通ルールへの遵守)

1. 交通啓発活動の拡充 (1/5)

- 四季の交通安全運動街頭キャンペーンの実施
(市内13箇所)

春 4月 6日(水) 401人従事

夏 7月 11日(月) 400人従事

秋 9月 21日(水) 594人従事

年末 12月 12日(月) 481人従事

約10,000の啓発物品と啓発チラシを配付。

- キャンペーンチラシ内容

春 自転車安全利用五則・法改正

夏 自転車安全利用五則・自転車保険・TSマーク

秋 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

年末 ながらスマホ・自転車安全利用五則・防犯登録

1. 交通啓発活動の拡充 (2/5)

- 自転車マナーアップ運動の実施

5日 朝の通勤・通学時間帯

(主に午前7時半や8時から)

駅前駐輪場・高校や大学周辺

22日 夕方の買い物時間帯

(主に午後3時から)

駅・スーパー周辺

市内1~2箇所で実施。

平成28年度 19日実施予定

平成29年度 22日実施予定

他、自転車のルールやマナーが特に悪いという情報のあったところなどで臨時で実施。

1. 交通啓発活動の拡充 (3/5)

- 自転車街頭点検の実施 (例年5月実施)

実施年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (予定)
実施回数	3回	2回 ※1回雨天中止	5回	9回	9回
実施箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鵜沼 ・ 六会 ・ 辻堂 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藤沢 ・ 長後 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片瀬 ・ 明治 ・ 六会 ・ 長後 ・ 遠藤 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鵜沼 ・ 明治 ・ 善行 ・ 六会 ・ 湘南大庭 ・ 湘南台 ・ 長後 ・ 御所見 ・ 遠藤 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鵜沼 ・ 明治 ・ 善行 ・ 六会 ・ 湘南大庭 ・ 湘南台 ・ 長後 ・ 御所見 ・ 遠藤
点検台数	260台	154台	261台	719台	

1. 交通啓発活動の拡充 (4/5)

- 交通安全ビデオ・DVDの貸出
- 広報ふじさわ掲載
 - 4月25日号 (→)
 - 他、6月25日号、
 - 9月10日号、
 - 12月10日号にも掲載。
- ホームページ掲載
- 自治会・町内会回覧 等

2016年(平成28年)4月25日 広報ふじさわ

3 藤沢市役所の連絡先 ☎946-251111(付), 0466-251114(休日・夜間), 0466-241598 市庁舎5階

防犯交通安全課
市内線2534
箱(50)8407

自転車マナーアップ強化月間
5月1日(日)～31日(火)

自転車も のれば車の なかまじり

5月は「自転車マナーアップ強化月間」です。市内では昨年365件の自転車事故が発生しました。過去にはイヤホンで音楽を聴きながら自転車を運転し、歩行者とぶつかり死にさせる事故があり、加害者の学生に対して禁煙2年6カ月執行猶予3年の判決が下される事例がありました。自転車に乗る人も乗らない人もルールを知り、マナーを守ってみんなが安全・安心して共存できるまちにしましょう。

☆方が一の事故に備えて歩行者に衝突したり車にはねられたり、自転車は加害者にも被害者にもなりま

5月は「自転車マナーアップ強化月間」です。市内では昨年365件の自転車事故が発生しました。過去にはイヤホンで音楽を聴きながら自転車を運転し、歩行者とぶつかり死にさせる事故があり、加害者の学生に対して禁煙2年6カ月執行猶予3年の判決が下される事例がありました。自転車に乗る人も乗らない人もルールを知り、マナーを守ってみんなが安全・安心して共存できるまちにしましょう。

☆方が一の事故に備えて歩行者に衝突したり車にはねられたり、自転車は加害者にも被害者にもなりま

す。方が一のために、保険に加入しましょう。保険には、自動車保険に付帯して加入する商品や、自転車安全整備店で点検、整備を受けるという保険が、付帯する「Sマーク」などでさまざまな種類があります。保険会社への、TSMマークについては自転車安全整備店

に加入しましょう。保険には、自動車保険に付帯して加入する商品や、自転車安全整備店で点検、整備を受けるという保険が、付帯する「Sマーク」などでさまざまな種類があります。保険会社への、TSMマークについては自転車安全整備店

左表の通り
※雨天中止

とき	ところ
5月11日(水)午前9時～11時	こぶし荘
12日(木)午後2時30分～4時30分	藤沢市民センター
18日(水)午後2時～4時	遠藤市民センター
19日(木)午後2時～4時	湘南台文化センター
20日(金)午後2時～4時	六会日大前駅前ロータリー
24日(水)午後2時～4時	湘南大藤市民センター
25日(木)午後3時～5時	フジスーパー善行店
27日(土)午後2時～4時	明治市民センター
31日(水)午前9時30分～11時30分	鵜沼市民センター

☆自転車街頭点検(無料) 専門業者による自転車の安全点検を行います。当日会場にお越しください。

1. 交通啓発活動の拡充 (5/5)

- 「ふじさわ交通安全フェスタ」
平成28年9月22日雨天中止
- 平成29年11月11日(土)予定
秋葉台文化体育館駐車場

スタントマンによる交通事故再現
(スケアードストレイト)



2. 防犯への意識づけ活動

- 12月10日号広報ふじさわ1面に、自転車のかごに防犯ネットをつけるよう掲載。
- 10月27日・28日に藤沢駅・辻堂駅・湘南台駅で防犯街頭キャンペーン実施で自転車盗難注意チラシとワイヤーロックを2,000個配布。
- 12月12日年末の交通事故防止運動街頭キャンペーンチラシに掲載。



3. 自転車環境づくりにあわせた意識の啓発

- 土棚石川線の矢羽周知チラシ

湘南台地区の自治会回覧
(1月10日)を行った。

土棚石川線に自転車の誘導標示を設置します

土棚石川線(下記位置図の箇所)において、自転車の車道左側通行を促すために、自転車の誘導路面標示(矢羽根・自転車ピクトグラム)を設置します。
自転車走行空間整備工事は、平成29年3月完成予定です。

【断面図】

【位置図】

【路面表示(法定外)】

矢羽根 (自転車ピクトグラム)

※歩道内の自転車通行について
現この箇所は歩道内は『普通自転車歩道通行可』(道路交通56条の4第1項1号)であるため、自転車でも歩道通行することが可能です。
ただし、すぐに止まれるスピード(徐行)で車道寄りを通行し、歩行者の通行を妨げるようになる場合は、一時停止をして、道を譲らなければなりません。

【整備イメージ】

高合せ
藤沢市 道路整備課・防犯交通安全課 電話 0466 (25) 1111

4. 社会情勢に伴う交通ルール意識への啓発

- ポスター作成・掲示
 - 平成28年度は新規に、市内の電車の駅(JR・小田急・江ノ電・湘南モノレール)と児童館5箇所、地域子ども家17箇所に掲出依頼。
 - 秋の実施要領及び年末の自治会回覧チラシにおいて掲出希望者を募り、2~3自治会で掲示された。
- チラシ設置
- 交通安全教室の実施(年間約200回)

自転車の基本のルール

知っていますか? 自転車安全利用五則 知っていますか?

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外。
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行。
- 4 安全ルールを守る
飲酒運転・二人乗り・技能の禁止
道交法改正の立ち入り禁止
夜間はライトを点灯
- 5 子どもはヘルメットを着用

交通法での最高速度と一時停止・安全確認

※1 道路標識が歩道内通行を許可していません。
※2 歩道が狭い場合は、歩道から歩行者優先で通行してください。
※3 歩道が狭い場合は、歩道から歩行者優先で通行してください。
※4 歩道が狭い場合は、歩道から歩行者優先で通行してください。
※5 歩道が狭い場合は、歩道から歩行者優先で通行してください。

※6 歩道は、歩道から歩行者優先で通行してください。
歩道が狭い場合は、歩道から歩行者優先で通行してください。

法律というルールを守って、自転車を安全に乗りましょう

藤沢市・藤沢市交通安全対策協議会

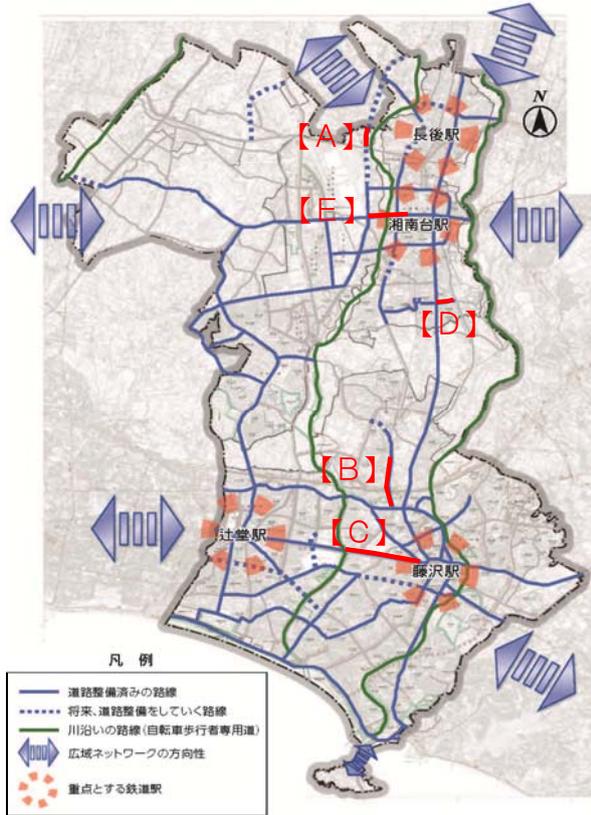
5. 幼児二人同乗基準に適合した自転車利用の啓発

- 自転車の日（5月5日）キャンペーンを「みらい子どもフェスタ」で実施。「幼児二人同乗用自転車」の運転体験、チラシの配布。
- 「幼児二人同乗用自転車購入費補助制度」交付決定者にチラシの郵送。
- 幼児の交通安全教育担当者研修会の受講者に配付。



(2) 平成29年度の実施予定施策について

◆はしる (走行空間整備)



【中短期で取り組む路線】

- 【A】 石川下土棚線
- 【B】 藤沢石川線
- 【C】 藤沢駅辻堂駅線

【その他の路線】

- 【D】 六会駅東口通り線
- 【E】 高倉遠藤線

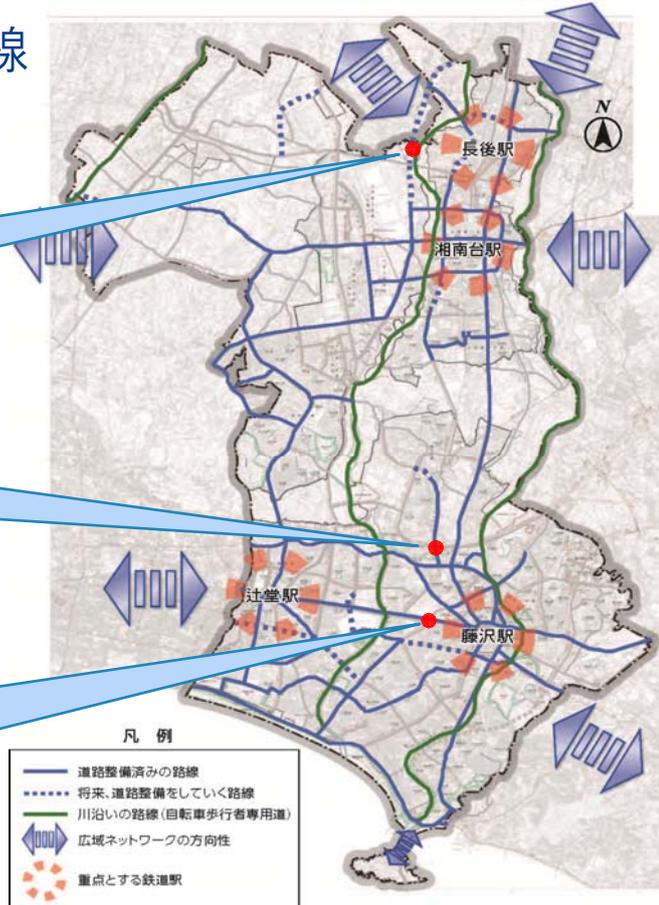
※新年度の事業については全て、議会で議決された予算の範囲内での執行となります

■ 中短期で取り組む路線

石川下土棚線【A】
綾瀬市境の
街路築造工事を予定

藤沢石川線【B】
国道1号下の
トンネル工事を予定

藤沢駅辻堂駅線【C】
藤沢市興業公社前から
辻堂方面へ130m区間の
工事を予定



■ その他の路線

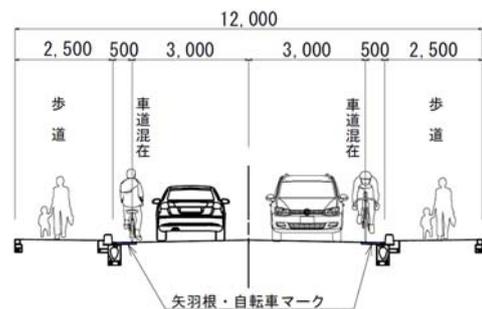
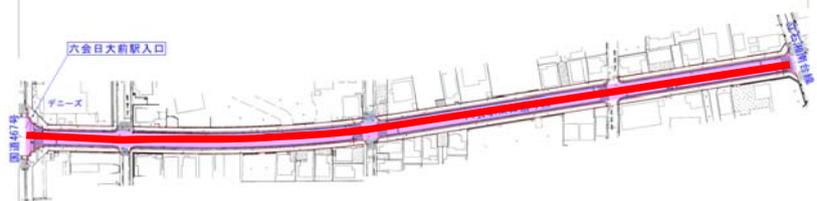
➤ 六会駅東口通り線【D】



□ 事業概要

延長 約360m

車道混在型路面表示



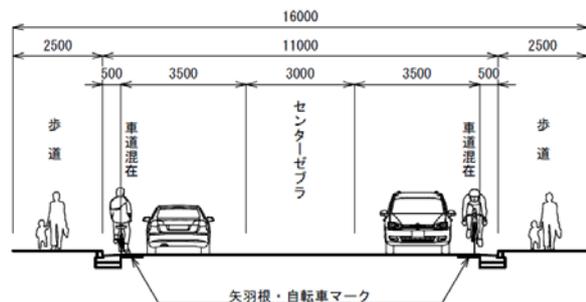
➤ 高倉遠藤線【E】



□ 事業概要

延長 約750m

車道混在型路面表示



▶ 藤沢市自転車走行空間のあり方の改定について

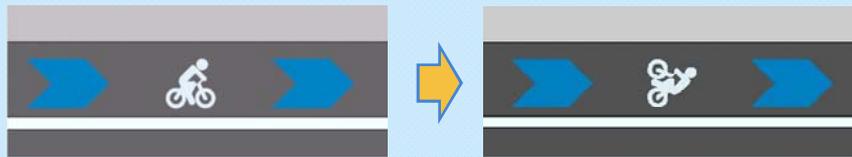
平成28年7月 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインの一部改定

<主なガイドライン改定内容>

- ・ 車道通行を基本とした暫定形態の積極的な活用
- ・ 路面表示の仕様の標準化
(矢羽根の幅7.5cm以上、ピクトグラム向きは進行方向左向き、等)
- ・ 自転車道は一方通行を基本とする考え方の導入等



平成28年11月 藤沢市自転車走行空間のあり方を一部改定
ピクトグラムの向きを進行方向左向きに変更



※引き続き、ガイドラインの改定内容を精査し、矢羽根の規格や設置方法、自転車歩行者道の活用などについて、交通管理者と協議し、あり方への反映を検討していく。

◆とめる（駐輪環境整備）

- 新たな駐輪施設の整備検討に向けた測量等を実施予定
- 放置自転車等の撤去を引き続き実施予定

◆つかう（利用促進）

- 新たなサイクルアンドバスライド施設の整備に向けた検討やレンタサイクルの検討等を引き続き実施予定

◆まもる（交通ルールの遵守）

- 交通啓発活動等を引き続き実施予定

◆ 施策の目的と効果検証方法

○「藤沢市交通マスタープラン」では
環境にやさしい交通まちづくりを実現するための
 交通施策の1つ (p.84)



自動車（バイク含）利用からの転換が図られていることが重要

(例) 施設ができたことにより、
 自動車を利用する時間が減った ⇒ ○
 徒歩から自転車に変更した ⇒ △



効果を検証するため、矢尻バス停サイクルアンドバスライド施設において、アンケート調査を実施

3 3

◆ 効果検証（アンケート調査）

■ アンケート調査の概要

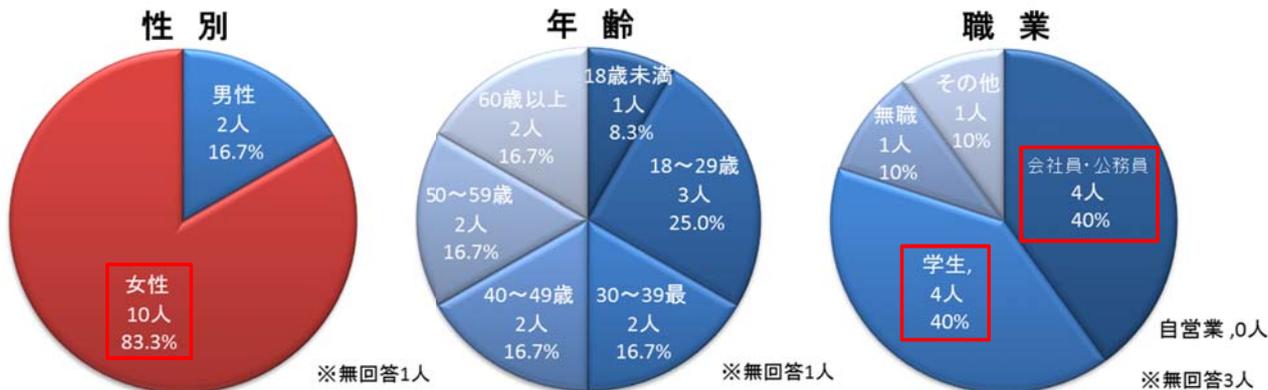
- 期間 : H28.10.31~H28.11.11
- 対象者 : 施設利用者（矢尻バス停）
- 配布方法 : 自転車に用紙を直接取付け
（期間中は随時追加）
- 回収方法 : 施設内2箇所回収箱を設置
- 配布人数 : 延べ48人
- 回収人数 : 13人（回収率27.08%）



3 4

■ アンケート調査の結果

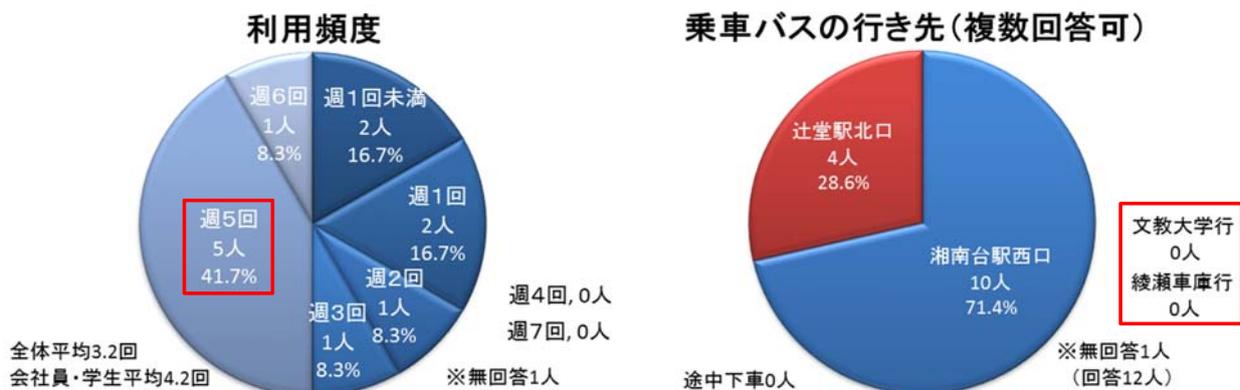
(1) 基本属性



- アンケート回答者の8割以上を女性が占めた
- 年齢層に偏りは無く、職業は会社員・公務員・学生で8割を占めた

■ アンケート調査の結果

(2) 利用頻度及び行き先

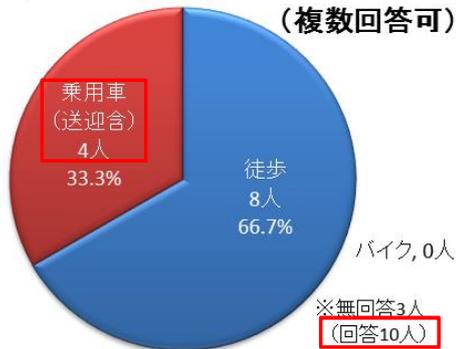


- 週5回利用している人が4割以上を占め、会社員や学生などは平日ほぼ毎日利用している状況が伺える
- 施設利用者のほとんどが湘南台駅や辻堂駅を經由して目的地へ向かっている

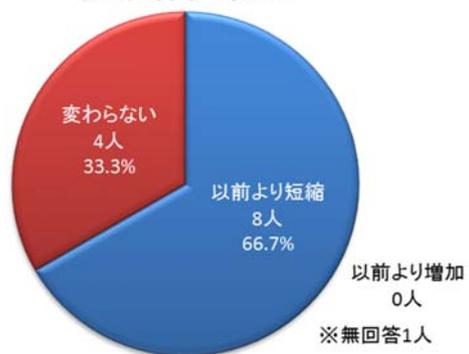
■ アンケート調査の結果

(3) 施設開設前後の状況変化

移動手段の変化【開設後減った手段】
(複数回答可)



移動時間の変化

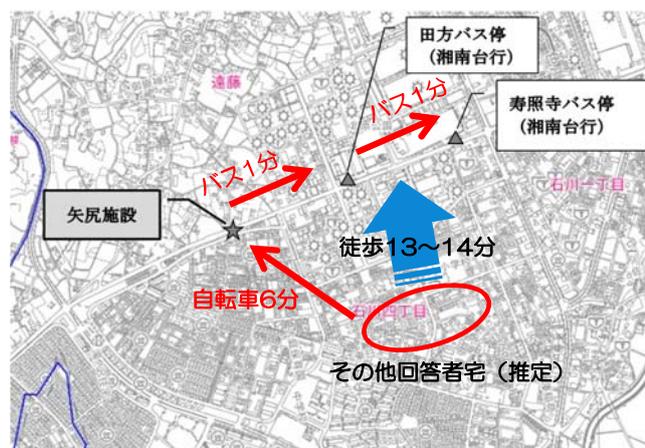
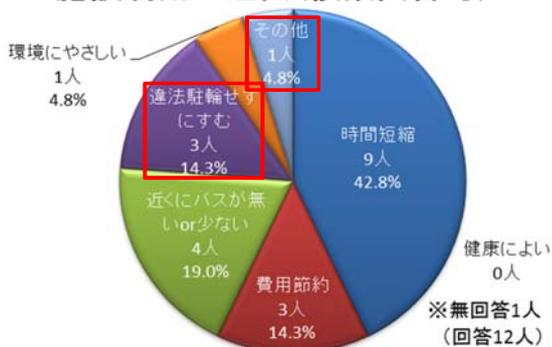


- バス停までの利用を徒歩から自転車に切り替えた以外に、乗用車の利用頻度が従前に比べ減少したと回答した人が4割いた(回答者10人中4人、複数回答2人)
⇒ **環境負荷の小さい交通への利用転換を確認**
- 移動時間の短縮は徒歩から自転車への切り替えに伴うものと推察される

■ アンケート調査の結果

(4) 施設利用の理由

施設利用の理由(複数回答可)

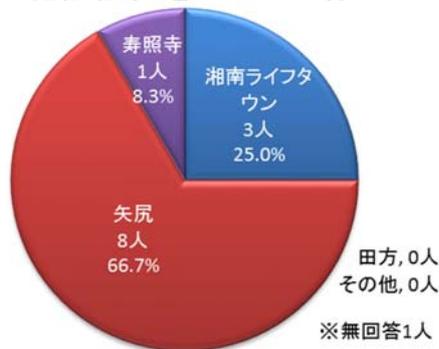


- 施設利用の理由としては時間短縮が最も多いが、**違法駐輪の抑制にも役立っていることが確認できた**
- “その他”回答者は、田方や寿照寺が最寄りだが、そこへ徒歩で向かう場合と比べ、矢尻に自転車で向かう場合は時間が半分で済むと回答しており、現在**田方や寿照寺で見られる放置自転車**を誘導できる可能性を感じ取れる

■ アンケート調査の結果

(5) 希望のバス停

施設設置を望むバス停

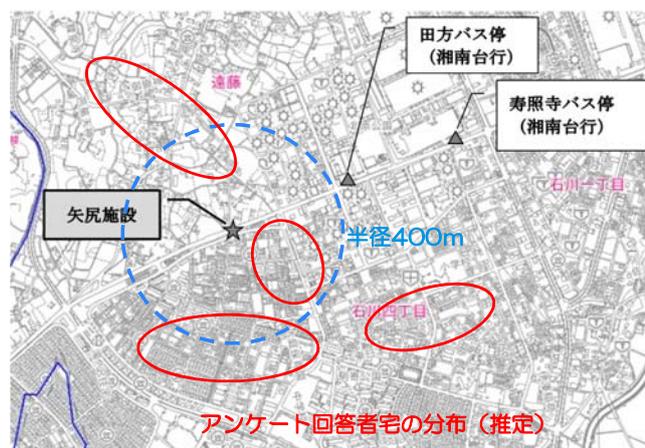
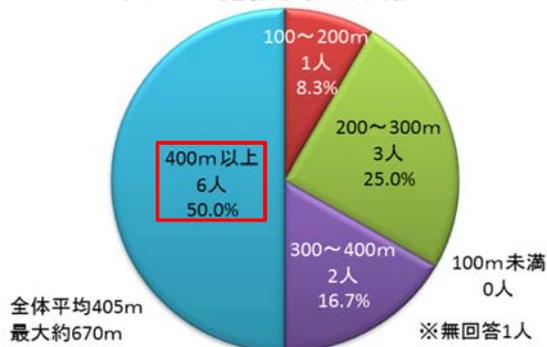


- 現在実際に利用している矢尻が最も便利であると感じている人が多く6割以上を占めており、次いで湘南ライフタウンへの整備を望む声が多かった (※寿照寺希望者は前述の“その他”回答者と同一)

■ アンケート調査の結果

(6) 自宅との距離

自宅と施設間の距離



- 施設から自宅までの距離は、400m以上の人が半分を占め、平均で約405m、最大で約670m離れている
- 公共交通が充実していない地域の方々の利用が確認でき、目的地までの時間短縮に寄与しているものと推察される

■ 検証結果まとめ

- 乗用車（自家用車）の利用頻度減少が確認でき、サイクルアンドバスライド施策の目的（自動車利用からの転換）が達成されていることを確認できた
- 公共交通が充実していない地域に住んでいる方々の移動時間短縮に寄与していることが確認できた
- 近隣の路上放置自転車を本施設へ誘導できる可能性があることを確認できた

4 1

(4) レンタサイクル（コミュニティサイクル）について

4 2

◆サイクルプランにおける位置付け

「ふじさわサイクルプラン」では、自転車利用の促進に向け、中短期で取り組む施策の1つとして掲げられている

1-2 レンタサイクルの検討

江の島を含めた湘南海岸沿岸の鉄道駅や、観光施設周辺などでレンタサイクルを利用できるように、レンタサイクル施設の設置場所や料金の支払いシステムなど、利用しやすい環境を整備することを検討します。

- ①小田急片瀬江ノ島駅、江ノ電江ノ島駅、湘南モノレール湘南江の島駅の3駅を中心に、観光を目的とした自転車で回遊しやすい環境づくりをめざし、レンタサイクルなど自転車利用しやすいシステムの検討を進めます。

※サイクルプランp. 73 関連部分抜粋

- 江の島周辺3駅を中心
- 観光目的
- 回遊しやすい環境



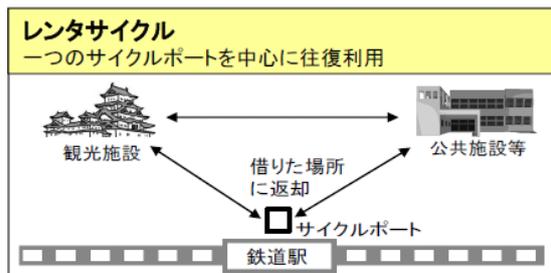
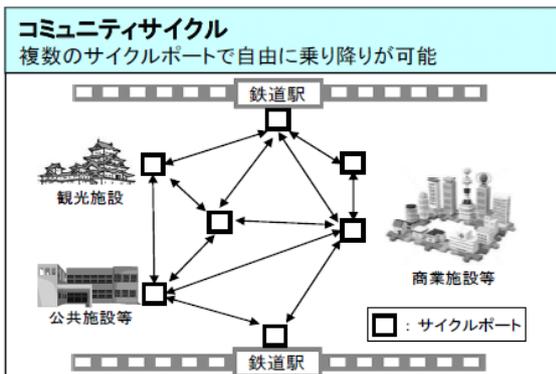
面的な広がりが望ましい



※コミュニティサイクル

◆コミュニティサイクルとは

- 相互利用可能な複数のサイクルポートからなる、自転車による面的な都市交通システム
- 高密度にポートを配置し、いつでもどのポートでも自転車の貸出しや返却が可能であり、短時間・短距離の移動を目的とした公共交通を補強する新しい交通手段



出典：全国コミュニティサイクル担当者会議資料

◆コミュニティサイクルの現状と課題

- 本格導入している都市は全国で約80都市
- 施設の設置費用や運営費用などの一部を、**行政が負担している事例が多く**、料金収入以外の安定した事業外収入の確保が概ね共通の課題
- 安定した運営体制を確立するため、平日の通勤や通学利用、法人利用等を**効率よく取り込むことが必要**（観光利用だけでは厳しい）
- 走行環境の整備も促進する必要がある

4 5

◆今後の検討に向けて

今後の検討に向けた参考とするため、本協議会においてご意見をいただきたい。

- レンタサイクルかコミュニティサイクルか
- 検討エリアの拡大は必要か
- 行政として望ましい関わり方は（費用負担など）
- 走行空間の整備水準と導入のタイミングは
など

4 6